

平成30年度「未来へつなぐ学校と地域の安全フォーラム」について

東北地方整備局 企画部 防災課

1. はじめに

平成30年11月22日 宮城県岩沼市において、学校と地域が連携して取り組む安全教育についてのフォーラム「未来へつなぐ学校と地域の安全フォーラム～多様な協働をとおして～(主催：宮城県教育委員会、東北大学災害科学国際研究所防災教育国際協働センター 共催：東北地方整備局、岩沼市教育委員会)」が開催されました。

本フォーラムは、防災を中心に取り組んできた安全教育を生活安全・交通安全の2領域まで広げ、子どもたちの安全を幅広く守っていききたいとの考えから、地域や学校・研究機関がそれぞれの役割を明確にし、安全教育(防災安全・生活安全・交通安全)の発展と震災後の取組について広く国内外に発信することを目的に、今回4回目(プレフォーラムを含む)の開催となります。

被災地である宮城県が培ってきた防災教育を県内外に発信していくとともに、県内教育者の学習の場として、会場には、宮城県の教育委員会や学校関係者ら合わせて約600人の参加がありました。



▲ 林氏の基調講演

平成30年度

未来へつなぐ学校と地域の安全フォーラム

多様な協働をとおして

目的 地域・学校・研究機関等がそれぞれの役割や関わりを明確にし、安全教育の課題解決に向けた協働を通して、災害・生活・交通に係る安全教育の発展に資すると共に、国連防災世界会議で採択された仙台宣言の実現に向け、国際的な視野に立ち、震災後の取組について広く国内外に発信する。

日時 2018年11月22日 木
9:30～16:10 (9:00 受付)

場所 岩沼市民会館 大ホール
岩沼市星の杜一丁目2-45

特別講演 「防災教育に取り組む上で大切なこと」
国立研究開発法人防災科学技術研究所 理事長 林 孝男

プログラム	参加費 無料	アクセスマップ
9:30～ アトラクション	参加費 無料	
9:45～ 開会行事		
10:00～ 特別講演		
11:00～ 先進事例発表		
13:10～ ワイドセッション		
13:50～ 幼小・中・高の連携		
14:20～ パネルディスカッション	14:20～ パネルディスカッション	
16:00～ 閉会行事		



▲ 会場の様子(約600名の聴講者)



▲ 各学校から先進事例の報告

2. <ワイドビジョントーク>「豊かな防災教育のために関係機関や世界とつながる」について
 学校防災教育を支援する取り組みとして、国交省・NPO・大学などがこれまでに実施してきた様々な協力(支援)から、これからの防災教育支援の在り方を探りました。



▲ ワイドビジョントークの様子



▲ 東北地方整備局 西尾企画部長



▲ 東北大学災害科学国際研究所
教授 佐藤氏(ファシリテーター)



▲ NPO法人SEEDS Asia(シーズアジア)中川氏

<NPO法人SEEDS Asia 中川氏の感想>

- 国土交通省はハード整備のイメージが強かったが、西尾さんの発表を聞き国土交通省が防災教育の重要性も意識されていることにとても感心した。
- 私たちが活動しているアジアの多くの国は、防災の知識やハザードマップ等も無く、何も無い状況から防災教育を実践している。日本のようにアクセスすれば様々な防災情報が入る環境は非常に恵まれていると感じた。

<東北地方整備局 西尾企画部長の感想>

- インフラ整備が進んでいない発展途上の国でここまでの防災教育を実践されていることに感心した。
- 先生方が作られた模型や教育のツールが、子どもたちに伝えやすいように苦勞して工夫されている点が素晴らしいと感じた。
- 我々もインフラを整備する際には、地域の方々に理解していただいたうえで進めていくのが基本。地域とのコミュニケーションのあり方も見習うべきところがあったと感じている。

<東北大学 災害科学国際研究所 佐藤教授の感想>

- 私自身、新鮮なお話をたくさん聞いた。ワイドビジョントークをきっかけに、会場の皆さんと関係機関がつながること、また、関係機関同士がつながる可能性に期待し、防災教育がさらに発展して豊かなものになればよいと思う。

3. おわりに

国土交通省が取り組んできた防災教育の事例、NPO法人SEEDS Asiaが取り組んできた海外における防災教育の事例について、それぞれ紹介があり、今後の教育現場に貢献、活用できる情報を、広く参加者と共有しました。

東北地方整備局としまして、今後とも手を取り合い防災教育に関係しつつ連携してまいります。

平成30年度 10月～12月 防災エキスパート活動状況

平成30年10月～平成30年12月は、平常時115名の防災エキスパートの方々に活動していただいております。

平 常 時

県別	活動月	活動内容	活動場所	出勤人数	備考
青森	12月	平成30年度 防災エキスパート意見交換会	青森河川国道事務所	19	
宮城	10月	平成30年度 堤防徒歩巡視	北上川下流河川事務所 米谷出張所/鹿島台出張所/飯野川出張所 鳴瀬出張所/大崎出張所	7	
	11月	平成30年度 徒歩巡視	北上川下流河川事務所 米谷出張所/鹿島台出張所/飯野川出張所 鳴瀬出張所/大崎出張所/涌谷出張所	11	
	12月	平成30年度 防災エキスパート意見交換会	北上川下流河川事務所	9	
秋田	10月	平成30年 堤防等河川管理施設及び河道の点検(徒歩点検)	秋田河川国道事務所 茨島出張所	5	
	11月	平成30年度 雄物川危機管理演習	湯沢河川国道事務所	2	
	12月	平成30年度 防災エキスパート意見交換会	湯沢河川国道事務所	11	
山形	10月	防災エキスパート出張所意見交換会	山形河川国道事務所 南揚出張所	3	
福島	11月	堤防徒歩巡視(出水期後)	福島河川国道事務所	10	
		水防技術講習会	福島河川国道事務所	4	
10月～12月 平常時活動			合 計	115	人・日



▲平成30年度 徒歩巡視
【北上川下流河川事務所】



▲水防技術講習会
【福島河川国道事務所】

「平成30年度 防災エキスパート意見交換会」 (平成30年10月～12月)

防災エキスパートの活動について、日頃からの連携強化を図る事を目的に意見交換会が行われました。

■ 青森

開催月日：平成30年12月5日（水）

会 場：青森河川国道事務所 大会議室

出 席 者：青森河川国道事務所 23名

防災エキスパート及び事務局 19名

主な内容

- ・管内の災害体制、対応状況
- ・水害に備えた減災対策協議会の取り組み
- ・冬期道路交通に関する取り組み
- ・事務所と防災エキスパートのさらなる連携について



▲ 12.5 防災エキスパート意見交換会
【青森河川国道事務所】

■ 宮城

開催月日：平成30年12月11日（火）

会 場：石巻かわまち交流センター
市民交流ホール

出 席 者：北上川下流河川事務所 23名

防災エキスパート及び事務局 9名

主な内容

- ・復旧、復興事業の進捗状況
- ・平成30年度の出水概要等
- ・出水等災害対応に関する意見交換会



▲ 12.11 防災エキスパート意見交換会
【北上川下流河川事務所】

■ 秋田

開催月日：平成30年12月25日（火）

会 場：湯沢河川国道事務所 新庁舎3階
第二会議室

出 席 者：湯沢河川国道事務所 20名

防災エキスパート及び事務局 11名

主な内容

- ・災害協定及び防止重エキスパート応援協力概要
- ・雄物川の出水概要と対応
- ・災害時等の防災体制についての課題、助言等について ～災害時の応援協力について～



▲ 12.25 防災エキスパート意見交換会
【湯沢河川国道事務所】

第1回 防災活動支援検討会

平成31年1月28日(月) 当協会3F会議室において、時代の変化に対応した防災エキスパートの「体制のあり方」や「今後の支援体制の再構築」を図るため、防災に関する豊富な経験を有する防災エキスパート会員代表者による検討会を実施しました。

座 長：三浦 清志東北地域づくり協会専務理事

会 員：菅原 信雄(シビル設計(株)) 松井 幸一(東亜建設工業(株))

梅森 雄一(鉄建建設(株)) 山科 勝嗣(東北地域づくり協会)

小山 幸男(東北地域づくり協会)

事務局：河川技術部(西條、中村、柳谷)

☆現状の課題

○支援内容について

- ・ 河川・道路に携わる職員の減少、激甚化する災害、今後想定される大規模災害を踏まえ、防災エキスパートの活動内容・活動体制の再構築が必要。

○体制について

- ・ 防災エキスパートの活動機会の増加や活動範囲の拡大が想定される為、防災に特化した組織体制の構築が必要。

○技術・伝承体制について

- ・ 水防工法や技術の向上を防災エキスパート及び現役職員への継続的かつ計画的な対応が必要。

☆今後の体制のあり方

○支援内容について

- ・ TEC-FORCEとの円滑な連携をとるために、防災エキスパートの具体的な行動マニュアル(案)を検討・作成し、役割分担を明確にする。

○体制について

- ・ 防災に特化した事務局体制の強化を図り、登録会員の役割分担のリスト化や所属会社の協力体制のあり方について検討を進める。

○技術・伝承体制について

- ・ 定期的な研修制度や新技術の活用などについて、今後検討を進める。

○その他

- ・ 今回は準備会的な検討会であり、次回は河川・道路関係全体の検討会を開催する。

☆今後の対応

- ・ 検討会で出た意見を整理し、平成31年度4月中旬に第2回防災活動支援検討会を開催する。



▲ 1.28 防災活動支援検討会

…★防災エキスパート事務局をご紹介します★…

東北地域づくり協会秋田支所では、秋田県内の防災エキスパート事務局を担当しております。今年度は、災害時対応として5月18日の梅雨前線による大雨で、2年続きの雄物川異常出水があり、堤防等現地調査に3名活動していただきありがとうございました。

また、秋田県内各事務所での総合防災訓練・洪水対応演習・危機管理演習・重要水防箇所徒歩点検等に述べ27名で活動していただきました。

12月末には、防災エキスパート懇話会（湯沢地区）に11名参加し、現地点検時の課題及び活動の留意点について湯沢河川国道事務所職員と活発な意見交換がなされました。

平成30年も西日本の大規模な豪雨災害をはじめ、全国津々浦々で大規模な災害が発生しております。近年の線状降水帯がもたらすゲリラ豪雨は、何処で発生するか分かりません。

大雨等の災害に備え、防災エキスパートの皆様には、今後ともご指導・ご支援よろしくお願いたします。



秋田支所長 戸嶋 守



積算課長 戸松 勇奇

編集
後

春とは名ばかりで真冬のような寒さが続いておりますが、防災エキスパートの皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。防災エキスパートの皆様には、平常時の活動や洪水対応にご協力いただき、誠に感謝申し上げます。引き続き、皆様のご支援ご指導を賜りますようお願いいたします。

防災エキスパート事務局

（東北地域づくり協会 河川技術部）

TEL:022-268-4611

FAX:022-227-6344

E-mail:gijyutsukikaku@kyokai.or.jp